

Web 公開用研究成果概要

所 属	秋田大学国際資源学部
氏 名	若狭 幸

研究テーマ	秋田県男鹿半島におけるタフォニ、ナマ、ポットホール地形の分布と分類及び風化プロセス、形成速度の解明
-------	---

関連分野	地形学
------	-----

対象フィールド	男鹿半島・大瀧ジオパーク
---------	--------------

キーワード	タフォニ ポットホール UAV
-------	-----------------------

 <p>八峰白神ジオパーク 男鹿半島・大瀧ジオパーク ゆざわジオパーク Mt.Chokai & Tobishima Island Geopark Plan 鳥海山・飛島ジオパーク構想</p>	<p>本研究成果概要は秋田県ジオパーク連絡協議会による「平成27年度秋田県ジオパーク研究助成事業」公募研究に採択された研究の成果である。</p>
<p>秋田県ジオパーク連絡協議会</p>	

研究成果概要 (A4 用紙で 1 枚程度)

男鹿半島ジオパークの岩石海岸には、タフォニ、ナマ、ポットホールと呼ばれる微地形が多数分布しています。穴地形は地質に依存していて半島南部に多く、北部ではあまり見られませんでした (図 1)。今後穴地形と地質や岩質との比較が必要です。本研究では地形計測 (穴の長径, 短径, 深さ) を行うために、椿の白岩およびゴジラ岩周辺で写真測量を行いました。椿の白岩では、8 枚の写真から画像解析を行い、図 2 に示す点群を作成しました。今後、この点群から数値地図を作成し、タフォニの大きさや深さを測定する予定です。ゴジラ岩周辺では、カメラを搭載した無人航空機 (UAV) を用いて空撮を行いました (図 3)。この図から、図 4 のように、ポットホールの大きさや形状を計測することができます。今後、地上測量および他の地域での UAV フライトを通して、より多くのポットホールの計測および時間変化を測定していきたいと考えています。

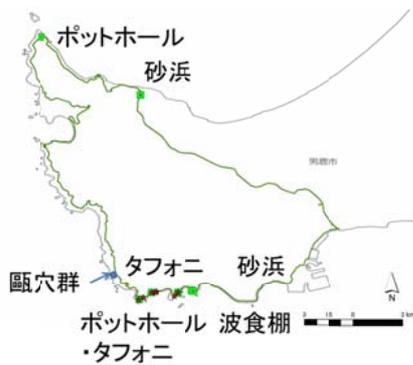


図 1. 男鹿半島における穴地形の分布



図 2. 椿の白岩の写真から作成した高密度点群

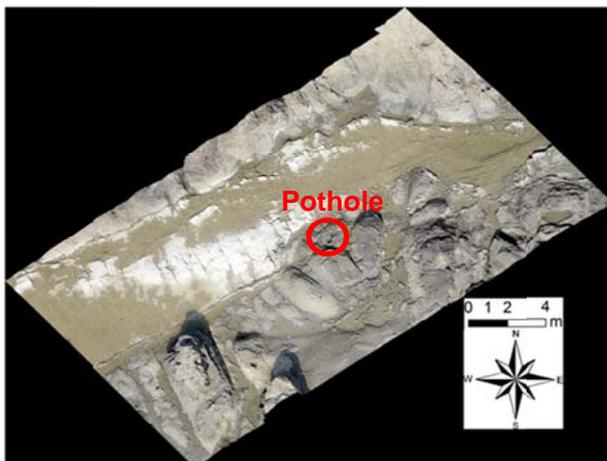


図 3. ゴジラ岩周辺の空撮画像を 3D 化した図.

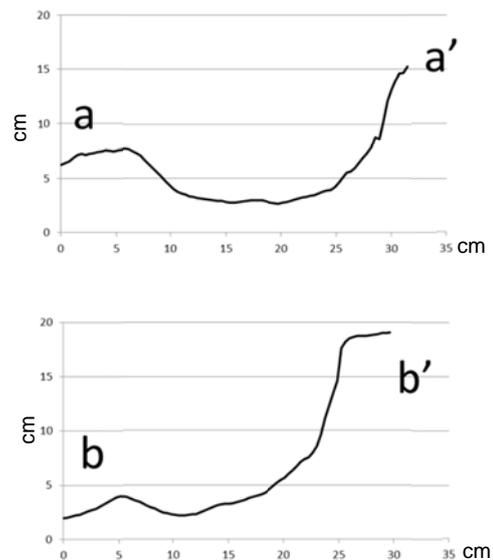


図 4. 図 3 中の下側のポットホールの断面図および縦断面図